

マレーシア政府およびエネルギー業界幹部日本招聘

JICC は 2025 年 3 月 10 日から 3 月 15 日の期間に、マレーシアのエネルギー・水変革省 Undersecretary を団長としてエネルギー・水変革省、MyPower（マレーシアの電力トランジション等を推進する政府機関）、Energy Commission（国家エネルギー委員会）、科学技術革新省（MOSTI）、TNB（国家電力会社）、PETRONAS（国営 Oil & Gas エネルギー大手企業）等原子力発電導入に向けた検討を推進している原子力関係者幹部を日本に招聘した。

【経緯/目的】；

マレーシア政府は脱炭素目標達成（2050 年までにカーボンニュートラル）に向け再生可能エネルギー（水素・アンモニアの利用、太陽光、地熱、風力、水力）の拡大検討とともにエネルギー・水変革省を 2023 年 12 月に設立し原子力発電導入の再検討を開始。第 13 次マレーシア計画にも原子力発電導入を盛り込むことが発表されている。マレーシアの原子力導入検討の支援の一環として今回の日本招聘を通し、日本の原子力発電の現状と今後の原子力発電及び原子力産業界の動向について理解を深めていただく。

【結果】；

- ① 日本原子力発電敦賀発電所、福井県の PA 活動の拠点である福井原子力センターあっとほうむの視察、内閣府原子力委員会、経済産業省資源エネルギー庁原子力政策課国際協力室との意見交換を行い、日本の原子力発電事業の現状を理解いただくとともに、駐日マレーシア公使表敬訪問を行い日本とマレーシアの原子力分野における協力関係について意見交換を行った。
- ② 日本原子力発電本店、IHI・日揮グローバル（JGC）との意見交換、IHI 横浜工場の視察を行い原子力産業界の動向の理解を深めていただいた。



日本原子力発電(株)敦賀発電所にて



内閣府原子力委員会にて



METI エネ庁原子力政策課国際協力室にて



福井原子力センターあっとほうむにて